

令和8年度辻堂地区郷土づくり推進会議公募委員選考要領

1 趣旨

この要領は、「藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱」に基づき設置される辻堂地区郷土づくり推進会議の公募委員の選考に関して必要な事項を定める。

2 選考組織

公募委員の選考については、公平性・中立性・透明性を保つことを目的とし、地域に関わる様々な分野による視点から選考するため、次に掲げる者で構成する選考委員会を設置して行う。

- (1) 辻堂地区郷土づくり推進会議を代表する者
- (2) 辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会を代表する者
- (3) 辻堂市民センター長
- (4) 辻堂市民センター主幹

3 委員長、副委員長

- (1) 選考委員会に委員長を置き、辻堂市民センター長及び辻堂市民センター主幹を除いた委員の中から互選により決める。副委員長は辻堂市民センター長を充てる。
- (2) 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- (3) 委員長に事故があるときは、辻堂市民センター長がその職務を代理する。

4 選考委員会

選考委員会は、委員長が招集し、委員の4分の3以上が出席しなければ、委員会を開くことができない。

5 選考方法

- (1) 選考委員は、応募者記載の「辻堂地区郷土づくり推進会議公募委員応募用紙」記載事項をもとに、「公募委員選考基準採点票」（第1号様式）に掲げる項目ごとに採点する。
- (2) 選考委員会は、合計得点を参考にして候補者を選考し、市長に報告する。
- (3) 採点結果が同点の場合は、年代、性別、地域性等の均衡やその他特記事項に記されている内容を考慮して、選考委員会において協議し、合議の上、候補者を決定する。
- (4) 全ての選考委員の採点結果において、2人以上の委員が同項目で、「著しく低い（評価：1）」と評価した者は、合計得点にかかわらずその者を候補者から除外することができる。なお、候補者から除外することについては、選考委員会において協議し、合議の上、決定する。
- (5) 選考委員会は、必要により応募のあった者と面談を行い、評価に考慮することができる。

6 選考結果の報告

委員長は、選考の結果を速やかに市長に報告するとともに、応募のあった全ての者に通知する。

7 庶務

公募委員の選考の庶務は、辻堂市民センター地域づくり担当（地域担当）において行う。

8 委任

この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

9 その他

この要領は、令和7年12月25日から施行する。

辻堂地区郷土づくり推進会議公募委員選考基準採点票（第1号様式）

2026年 月 日

番号	
----	--

氏名	
----	--

※ 事務局からお伝えする公募委員の番号を記入してください。 ※ 選考委員ご本人の氏名を記入してください。

No.	採点項目	応募用紙	採点基準	採点（該当する点数に○を付けてください）
①	(自己PR) 郷土づくり推進会議で活かせる特技や専門知識、地域活動や市民活動等の実績	「自己PR」欄をご確認ください。	①特筆すべき特技や専門知識があるか。 ②これまで地域活動や市民活動を行った実績があるか。 →①及び②ともに「あり」の場合は3点以上を、どちらか一方の場合は2点、どちらとも「なし」の場合は1点	高い ⇔ 低い 4 3 2 1
②	(コミュニケーション) 円滑に意思疎通を図るコミュニケーション能力、協調性等	「自己PR」欄をご確認ください。	①円滑なコミュニケーションを図るために具体的な策などが記載されている。 ②円滑なコミュニケーションを形成するための考え方などが記載されている。 →①及び②ともに「あり」の場合は3点以上を、どちらか一方の場合は2点、どちらとも「なし」の場合は1点	高い ⇔ 低い 4 3 2 1
③	(活動動機・意欲) 郷土づくり推進会議を通じたまちづくりに対する考え方や活動に参加する動機や意欲	「取り組みたい課題や活動」欄をご確認ください。	①取り組みたい課題が明確に示されているかつ、その課題が辻堂まちづくり会議が目指すべき方向性とも概ね合致している。 ②示した課題の解決に向けて、どういった活動をしていくのか考えた方が示されている。 →①は合致しているかつ、②は「あり」の場合は3点以上を、どちらか一方の場合は2点、どちらとも「なし」の場合は1点	高い ⇔ 低い 4 3 2 1
④	(事業に対する理解) 郷土づくり推進会議の目的、趣旨、活動内容等への理解	「取り組みたい課題や活動」欄をご確認ください。	①辻堂まちづくり会議の目的や趣旨などについて、概ね理解ができている。 ②辻堂まちづくり会議の活動内容等について、概ね理解ができている。 →①及び②ともに「できている」の場合は3点以上を、どちらか一方の場合は2点、どちらとも「なし」の場合は1点	高い ⇔ 低い 4 3 2 1
⑤	(活動可能) 活動可能日がほとんどなく、その代替となる手法も確保できない場合のみ「1」	「活動可能日時」欄をご確認ください。	活動可能日十分にあり→4点 活動可能日ある程度ありかつ、代替手段あり→4点 活動可能日ある程度ありかつ、代替手段なし→4点 活動可能日ほとんどなしかつ、代替手段なし→1点	4 OR 1
⑥	(その他特記事項)	応募用紙「全般」をご確認ください。	記載内容「全般」において、特別評価すべき内容があれば採点してください。特になければ採点の必要はありません。 →辻堂まちづくり会議の活動に十分活かせる内容あり：4点 →辻堂まちづくり会議の活動に活かせる内容あり：3点 →辻堂まちづくり会議の活動に活かせる可能性のある内容あり：2点 →辻堂まちづくり会議の活動には活かせる可能性低いものの、発展が期待できる内容あり：1点	高い ⇔ 低い 4 3 2 1
合計得点				